

佐藤洋子議員の特別委員会参考人へのチラシ等

による誹謗中傷への処分を求める請願

請願要旨

平成24年10月1日に開催された「町田市議会議員定数削減」に関する特別委員会で賛成意見を陳述した参考人の発言に対し佐藤洋子議員は、自己のホームページ、および不特定多数に配布するチラシに於いて事実無根の中傷記事を掲載した。

このようなことが、看過されれば、議会での参考人意見という市民の自由な発言が成りたちません。

また、この行為は思想信条、主義主張の違いを認め意見を述べ合う民主主義の根幹を否定するものです。

ネットで議事録が公開され参考人の住所・氏名もわかる状況でのこのような行動により参考人の名誉は著しく毀損され平和が乱されました。

議会外のことではありますが、議員としての良識・品位を疑う行為ですので、町田市議会として当事者である佐藤議員に対し処分を行い二度とこのようなことが発生しないよう請願する次第です。

1. 平成24年10月1日付佐藤議員のホームページで、誹謗中傷記事を掲載
(ただし、平成25年1月中旬に削除されている)

○記載内容

一方賛成の立場からの陳述は、削減に論拠がなく、究極議員はゼロでもいいなどととんでもない発言もあり、市議会や市政には興味がなかった方のように、国の政治のあり方と、地方議会を混同されているような発言が目立ちました。

○正誤内容

①議員はゼロでもいいという、とんでもない発言はしていない

2. 11月中旬「日本共産党町田市議団ニュース」というチラシ（10万部発行とのこと）が町田市内各世帯に配布されたが、その中にも虚偽の記述がありこの文を寄稿したのが佐藤議員である。

○チラシの問題箇所の内容

「定数削減」賛成の立場での陳述者からは、「議員はゼロでもいい。議会は劣化している。非効率的な民主主義はிரらない、自ら身を切ることで意気込みを示すべき」と、地方自治を規定した憲法を否定するような発言がありました。

○正誤内容

- ①議員はゼロでもいいという趣旨の発言はしていない
- ②議会は劣化していると断定していない
(政治が劣化しているからある程度の確率で市議会議員にもいえると思う、との発言はある)
- ③非効率な民主主義はிரらないとは言っていない
- ④地方自治を規定した憲法を否定するような発言はしていない

3. 経緯

参考人は、11月下旬にチラシに気づいて問い合わせたところ、共産党市議団団長でありチラシの掲載チェック責任者である殿村議員が対応し調査の結果、殿村議員から1月22日に口頭で「不正確な記事の掲載」について謝罪を受け訂正記事を掲載することになったが、具体的な訂正内容を主張する参考人と折り合わないまま2月上旬に新しいチラシが発行され意味不明の訂正記事が掲載された。

なお、佐藤議員からは今もって弁明・謝罪はない。